

学習課題(中学校3年生)



【音楽】

<学習内容> 「アーティキュレーションを工夫して表現しよう」②

○器楽の教科書 P16～17「大きな古時計」の曲想に合ったアーティキュレーションを考え、ふさわしい音楽表現を工夫してみよう。

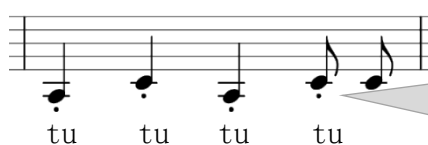
※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_chuu3.html



<取り組み方>

- (1) 前回の学習を振り返り、4種類のアーティキュレーションの違いを確認してみましょう。
- (2) 模範演奏の動画および器楽の教科書 P99～99-①の運指表を確認しながら、器楽の教科書 P17「大きな古時計」の2段目以降の主旋律を練習してみましょう。演奏は動画で確認できます。
- (3) 器楽の教科書 P17「大きな古時計」の2段目以降の曲想やフレーズの流れにふさわしいアーティキュレーションを考え、教科書の楽譜に奏法や表したいイメージなどを書き込んでみましょう。

例)



スタッカート奏法で時計の針が正確に動く感じ

- (4) 模範演奏に合わせ、アーティキュレーションを生かして表現を工夫した演奏をしてみましょう。動画は2パターンあります。
動画A：伴奏のみの演奏
動画B：伴奏と副旋律の演奏

<学習のヒント>

- (1) 前回の学習課題（2月4日発行）のプリントを見ながら思い出してみましょう。
- (2) 器楽の教科書の楽譜は、主旋律と副旋律がフレーズごと交互になっているので、わかりづらい場合には動画の楽譜を見ながら練習すると良いでしょう。
- (3) 楽譜にアーティキュレーションを書き込むときには、タンギングも一緒に記入してみましょう。
- (4) アーティキュレーションを付けた演奏を、ぜひお家の人に聞いてもらいましょう。